

第33回刈谷市サッカー連盟会長杯中学生サッカー大会（1年生大会）

第11回刈谷ハイウェイオアシスカップサッカー大会

- 1 日時 令和4年12月3日（土）、10日（土）（雨天決行）＜予備日12月17日（土）＞
- 2 場所 グリーングラウンド刈谷 人工芝グラウンド（17日のみ天然芝グラウンド）
- 3 主催 刈谷市サッカー連盟
- 4 協賛 刈谷ハイウェイオアシス株式会社
- 5 出場資格 刈谷市サッカー連盟に所属しているチーム（※）の第1学年の選手
※ 所属選手が7名に満たない場合、双方の学校長や責任者の合意の下、合同チームを結成することを認める。

6 大会事務局

事務局長	刈谷市立刈谷南中学校	山本 純一
〒448-0852	刈谷市住吉町2丁目1番地	
勤務先Tel	0566（21）0025	FAX 0566（25）4470

- 7 参加チーム 刈谷南中学校、富士松中学校、FC刈谷 al-futuro、刈谷81FC、ワイヴァンFC、及び「雁が音中学校・依佐美中学校・朝日中学校」による「合同チーム」から各1チームに限る。
- 8 競技方法 （1）試合時間は、25-5-25分のトーナメント戦とする。（組み合わせは別添）
（2）正規の時間内で勝敗が決しない場合は、試合後すぐにPK戦（5人制）を行い、勝敗を決することとする。
（3）前の試合が延びた場合、それにとまって試合開始時間を遅らせることもある。
- 9 競技規則 （1）日本サッカー協会規定の「サッカー競技規則 2022/2023」による。
（2）選手交代は人数制限を設けず、再交代を認める。
（3）メンバー表は、チェック欄・体温欄を当日の朝に記入した物を1部、当日本部テントに提出する。
（4）試合球は公認球5号とし、各チーム持ち寄りとする。
（5）試合成立の最低人数条件は7名とする。試合中退場者が出て7名未満になった場合は、試合不成立として中断し、不戦敗とする。
（6）ユニフォームについて、正副2着用意することがのぞましい。また、より多くのチームが参加しやすい大会運営とするために、以下のようにルール運用を緩和する。
① ユニフォームのデザインやロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。また、ビブス等も着用することができる。
② ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツやソックスはフィールドプレーヤーと同系色でもよいものとする。
③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
④ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
⑤ アンダーシャツやアンダーショーツ、及びタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
（7）本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会本部で決定する。
（8）本大会の期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
（9）ピッチ内アップについて、第1試合は試合開始前からの使用を認める。また、決勝戦は、試合の15分前から使用を認める。それ以外の試合は、前の試合のハーフタイムに行く。

- (10) 悪天候のため、大会の運営が困難な場合の決定は、大会本部により第1試合の3時間前に行き、各チーム代表責任者に連絡する。
- (11) 試合中に雷が発生もしくは落雷の予兆があった場合は、速やかに試合を中断し、安全な場所に避難するなど、選手の安全確保を最優先事項として常に留意する。雷雲が遠ざかって雷鳴が聞こえなくなっても、20分程度は待機することが望ましい。なお、試合が続行不可能になった場合は、続行不可能になった時点での得点・残り時間で再び試合を行うことに努めるよう、当該審判団と大会本部で協議する。

10 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 本大会の感染対策責任者を、大会事務局に置く。
- (2) ベンチ内はマスク着用とする。
- (3) 会場の密を避けるため、試合開始時刻の1時間半前より早く会場入りしない。
- (4) 各チームで消毒を持参し、こまめに消毒を行う。また、応援の保護者にも消毒の協力をお願いする。
- (5) 保護者の参観について、大会期間中の感染拡大状況を踏まえ、人数の制限を加える場合がある。
- (6) 選手、チーム関係者及びその同居家族に新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応
 - ① 大会に関わる全ての者の健康と安全を守るために、学校における教育活動の包括的な指針に準ずることとする。例として、大会期間中に発出されている「新しい学校生活におけるガイドライン」（刈谷市教育委員会）を参考とする。
 - ② 陽性者や濃厚接触者の状況、感染経路の確認や臨時休業の有無などを総合的に踏まえ、各学校長や責任者、各市教育委員会の指示に従う。
- (7) 大会への参加判断について
 - ① 試合開催の可否については、上記10(6)を基に、当該チームと大会本部署で協議し、試合の2日前までに判断・決定することを原則とする。
 - ② 活動禁止中に大会が開催される場合、該当チームは「参加辞退」とする。
- (8) リスペクト（大切に思うこと）の徹底
 - ① 新型コロナウイルス感染症の影響は、不可抗力とし、個人やチームの責任にしない。
 - ② 選手保護の関係上、感染等については公開してはならない。また、個人情報の扱いに十分に注意する。
- (9) その他の対策については、「選手及びチーム関係者等の新型コロナウイルス感染またはその疑いへの対応について」を参照する。（右記QRコード参照）



- 11 表彰 (1) 3位までのチームに賞状を授与する。
- (2) 優勝チームにカップを授与する。

12 準備・片付け

- (1) 準備 … 7時45分より、当日参加するチームの指導者1名と第1試合の2チームが行う。ウェーブスタジアムに事前に連絡し、早めの準備を行う。
- (2) 片付け … 両日とも、フレンドリーマッチの最終ゲームのチームで行う。

13 その他

- (1) 審判について
 - ① 1日目の主審は指導者が行う。副審は選手が行ってもよい。
 - ② 2日目の主審は1日目の敗退チームの指導者が行う。副審は試合のない指導者が行う。
- (2) 感染予防の観点から、開会式は行わない。また、準決勝や決勝が終了後、それぞれに表彰を行う。各チームにおいて、連盟や協賛会社の支援があって大会が成立していることを伝えるよう、工夫をする。